

- \* 米国本社リリース参考訳
- \* 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

## P & G 2025/26 事業年度 第2四半期(10-12月期)業績

純売上高1%増、本源的売上高増減なし

希薄化後1株当たり純利益5%減の1.78ドル、1株当たり中核利益増減なしの1.88ドル  
組織再編費用により、米国会計基準上の1株当たり利益を修正し、通期の純売上高、1株当たり中核利益、ならびに、資金還元の見通しを維持

2026年1月22日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2026事業年度第2四半期の純売上高が、前年同期と比べ、1%増の222億ドルであったと発表しました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、前年同期と比べて同水準でした。希薄化後1株当たり純利益は、当事業年度の追加の組織再編費用により、5%減の1.78ドルでした。1株当たり中核利益は、前年同期と同水準の1.88ドルでした。

当四半期の営業キャッシュフローは50億ドルで、純利益は43億ドルでした。調整済フリーキャッシュフロー生産性は88%でした。調整済フリーキャッシュフロー生産性は、純利益に対し、営業キャッシュフローから設備投資支出を差し引いたものの割合を指します。当社は、25億ドルの配当金と23億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計48億ドルを株主の皆様へ還元しました。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第2四半期(10-12月期)							
米国会計基準	2026年度	2025年度	%増減	会計基準外	2026年度	2025年度	%増減
純売上高	\$22.2	\$21.9	1%	本源的売上高	—	—	—%
希薄化後1株当たり利益	\$1.78	\$1.88	-5%	1株当たり中核利益	\$1.88	\$1.88	—%

\* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

社長兼最高経営責任者(CEO)のシャイレッシュ・ジェジュリカーは、「第2四半期の業績は、厳しい消費者環境および地政学的状況の中でも、通期の本源的売上高の成長、中核利益の成長、および調整済フリーキャッシュフロー生産性の見通しの達成に向けて、順調な進捗を見せています。当社は、当事業年度の下半期において力強い業績を達成するための計画に自信を持っています。引き続き、統合成長戦略に専念し、P & Gを変革し未来の消費財メーカーを創出する今後の機会に期待を寄せています。これにより、長期の売上と利益の均衡ある成長と価値創造を実現します」と述べています。

## 10-12 月期の業績

2026 事業年度第 2 四半期の純売上高は、前年同期と比べ 1%増の 222 億ドルでした。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、価格改定による 1%増が販売数量の 1%減で相殺され、前年同期と比べ同水準でした。ミックスは、当四半期の売上高に影響を及ぼしませんでした。

2025年10-12月期 純売上高増減要因(1)	販売 数量	為替 レート	価格 改定	ミックス	その他(2)	純売上高	本源的 販売量	本源的 売上高
ビューティー事業	3%	1%	2%	-1%	—%	5%	3%	4%
グルーミング事業	-2%	2%	2%	—%	—%	2%	-2%	—%
ヘルスケア事業	-1%	2%	1%	2%	1%	5%	-1%	3%
ファブリック& ホームケア事業	—%	1%	1%	-1%	—%	1%	—%	—%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	-5%	1%	—%	—%	1%	-3%	-5%	-4%
<b>P &amp; G 全体</b>	<b>-1%</b>	<b>1%</b>	<b>1%</b>	<b>—%</b>	<b>—%</b>	<b>1%</b>	<b>-1%</b>	<b>—%</b>

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ 4%増加しました。ヘアケア部門の本源的売上高は、販売数量の増加とラテンアメリカとヨーロッパにおける製品イノベーション主導の価格改定が、不利な地域ミックスで一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルケア部門の本源的売上高は、製品イノベーション主導の販売数量増と北米での価格改定が、地域ミックスによる悪影響により一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。スキンケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品による有利なミックス、および、主に中国における価格改定が、販売数量の減少で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、主に北米とヨーロッパにおける製品イノベーション主導の価格改定が、販売数量の減少で相殺されて、前年同期と同水準でした。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ 3%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品による有利なミックスが、販売数量の減少と販売促進活動により一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、主に北米における価格改定の効果が、不利な製品ミックスで一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。

- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ同水準でした。ファブリックケア部門の本源的売上高は、北米とラテンアメリカにおける販売数量の増加が、ヨーロッパでの販売数量の減少、および、不利な製品ミックスにより相殺されて、前年同期と同水準でした。ホームケア部門の本源的売上高は、主に北米における価格改定が、販売数量減で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べて、4%減少しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、販売数量の減少、および、不利な地域ミックスが、主に北米での価格改定で一部相殺され、一桁台前半の減少となりました。また、フェミニンケア部門の本源的売上高は、販売数量の減少が、主に北米での製品イノベーション主導の価格改定、および有利な製品ミックスにより一部相殺され、一桁台前半の減少となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、前年同期の力強い販売数量増の反動で、二桁台の減少となりました。

## 2026 事業年度通期の見通し

P & Gは、2026 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比 1~5%の範囲で増加するという見通しを維持しました。為替レートと事業の買収・売却をあわせた影響は、すべてを含めた純売上高に対して、約 1%の追い風になるものと予想されます。また、当社は、本源的売上高の成長率が増減なしから+4%の範囲に収まるという見通しを維持しました。

## P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーミン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパス®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴイックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/newsroom> (英語) をご参照ください。